

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域総合支援センター どんぐり2		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35家族	(回答者数) 20家族
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内と外で活動できるスペースがあり、心身の発達や体力強化に活かすことができる。外のスペースがあることで、より充実した活動内容の提供になっている。	安全に過ごせる環境の中で、ボール等を使って集団で活動を行ったり、個別の活動をおこなったり、その時々で工夫して活動を実施している。外のスペースを有効的に活用することで、気分転換等にもなっている。	周辺の地域資源を活用した活動の提供や、地域でのイベント等への参加を通して、様々な体験を重ね、地域とのつながりが持てるよう今後計画していく。
2	ご利用児が様々な体験ができるよう活動プログラムをチームで作成している。	毎日ミーティングを行い、活動プログラムの内容や手順について協議・検討を行っている。活動については様々な体験ができるよう意見を出し合い、5領域に沿ってご利用児が楽しみながら成長を促せるプログラムの作成に努めている。また、使用する道具等についてもご利用児が使いやすいように創意工夫して作成している。	目的を共有しながら様々な体験ができるように、引き続きチーム内でアイデアを出し合ったり、ご利用児やご家族の意見も取り入れながら活動を提供していきたい。また、法人内でも支援及び活動内容について情報共有を行い、療育の充実を図っていきたい。
3	研修や委員会等、地域総合支援センターだけではなく、法人全体で取り組む体制が整っている。	法人の体制に基づき、当センターの課題を盛り込みながら正しくその目的が果たせるように、担当職員を中心に必要な研修や会議、委員会等を計画的に実施している。	研修や会議を実施する中で、福祉に携わる上での意識の高揚や専門性の向上を図り、より質の高いサービスの提供を目指していく。また、職員への指導や教育を丁寧に行うとともに職員同士のコミュニケーションを大切にすることで、職員が働き甲斐をもてる環境づくりに努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士のつながりやきょうだい児への支援が行われていない。	今年度は個別の保護者懇談会を実施したため、保護者同士、きょうだい児の交流の機会を設けられなかった。	全体での保護者懇談会を計画したり、行事やイベント等への参加を通してきょうだい児との交流の機会を持てるよう計画を行ってきたい。
2	HPやSNS等を活用し、情報をこどもや保護者に対して発信することが不十分である。	情報発信に対して十分な時間とスキルを確保することができていない。	保護者のニーズを把握し、行事や活動の様子の発信に努めていく必要がある。法人のホームページを活用したり、会議や行事等の際に様子をお見せする等検討していきたい。
3	地域と交流する機会が少ない。	平日は下校後からの時間で地域のこどもと交流する場を持つことが難しい状況にある。	事業所周辺の地域資源を活用しながら、地域とのつながりを持てるよう、また、すまいるマルシェ等のイベントへ参加することで地域との交流の機会を持てるよう計画していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 地域総合支援センター どんぐり2

公表日 令和7年2月28日

利用児童数 38名 (35家族)

回収数 20家族

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	81%	5%	10%	4%		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	71%	14%	5%	10%		
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	76%	14%	0%	10%	すっきりした空間でわかりやすい配置だ と思う。	これからも整理整頓を心がけ、安全面や 環境面の配慮を行っていきます。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	76%	9%	5%	10%		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	80%	15%	0%	5%	教えてもらえることが多く、安心でき る。理学療法士が月1回でもいいので 個々に応じた支援をしてもらえたら、本 人の成長にもつながり、親も専門的なア ドバイスをもらえると思う。	専門職による定期的な訓練等は予定して おりませんが、ご希望に応じて専門職と 連携を図っていただけたらと思っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	90%	5%	0%	5%		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	85%	10%	0%	5%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90%	10%	0%	0%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	81%	14%	0%	5%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	76%	19%	0%	5%		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	29%	14%	24%	33%	支援学校に通っているため、多くの子 ども達と交流させたい。	今後ともイベント等の機会があれば、参 加を検討していきます。また、周辺の地 域資源を活用し、地域との交流の機会や 活動内容の充実に努めていきたいと思 います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	95%	5%	0%	0%		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	81%	10%	0%	9%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	66%	19%	5%	10%	ペアレントプログラムに参加している。 定期的であれば良いと思う。	令和7年度も実施する予定にしていま す。またご案内しますので、是非ご参加 下さい。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	85%	10%	0%	5%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	62%	24%	5%	9%	送迎の時しか話す機会がないため、落ち 着いて話す感じではない。	ご希望があれば、個別にお話できる機会 を調整させていただきたいと思いま す。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	81%	10%	0%	9%		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	28%	24%	10%	38%	保護者同士の交流はないが、必要性につ いてはわからない。	令和6年度は個別の保護者懇談を実施し ましたが、また時期や実施方法につま まはご意見もふまえながら検討してい きたいと思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	73%	21%	0%	6%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	68%	16%	0%	16%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	69%	5%	0%	26%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	84%	5%	0%	11%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	74%	10%	0%	16%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	79%	11%	0%	10%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	84%	11%	0%	5%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	95%	0%	0%	5%	長期休みの時も楽しそうに通っている。通所は本人も楽しみにしており、日々安心して過ごしている。	今後とも楽しく通所していただけるよう環境面の整備や活動内容の充実を図っていききたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	95%	0%	0%	5%	子どもと親の気持ちにいつも寄り添ってもらい、愛情いっぱい支援に感謝している。これからもよろしく願いたい。	今後とも安心して楽しく通所していただけるよう、また、子どもさんの成長を共に喜び合えるような事業所を目指してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	95%	0%	5%	0%	土曜日の利用の際、お弁当等を毎回頼めるようにしてほしい。	第1・第3土曜日の利用の際はナチュラルエイトで昼食の注文をお受けしております。ご利用ください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		地域総合支援センター どんぐり2		公表日		令和7年 2月28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		100%	0%
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		67%	33%	基準配置を満たしており、個別支援等必要な時は、職員間の連携を図っている。また、送迎支援に不足がある時には他部署と連携を図って対応している。男性職員の配置もしており、基本的には同性介助を行っている。	トイレ支援や特性に合わせた対応が必要な場合は、男性職員が多くいてほしいと思う。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		100%	0%	ワンフロアで全体が見えるため、ご利用児に目が届きやすい。	環境調整を行い、常に整理整頓を心がけている。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		83%	17%	排泄の際のプライバシーが守られるよう、カーテンで仕切ったり、個室のトイレの使用を促したりしている。	トイレが男女同じスペースにある。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		100%	0%	相談室があり、個別で使用できる。また、フロアをパーテーション等で仕切って、スペースを確保している。	引き続き必要に応じた個別支援を行っていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		100%	0%	毎月チーフ会議を実施し、事業に関する協議検討を行っている。内容については、各部署へ伝達を行っている。また、事業会議及び各事業所でのミーティングにてご利用児の支援についての検討・周知を図っている。	職員が等しく参画することで主体的に業務に臨むことができるようにしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		100%	0%	保護者向け評価表からの意見や内容を参考とし、業務の改善に努めている。また、法人内のサービス向上委員会の取り組みとして、アンケートを実施し、保護者の意見をうかがう機会を設けた。	いただいたご意見を職員間で共有し、具体的に業務改善につなげていくよう努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		100%	0%	日々のミーティングや業務終了後の情報共有の際に職員の意見を聞き、業務改善に努めている。	引き続き、職員が意見を出しやすく気づきを活かしやすい環境づくりを行っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		83%	17%	第三者による外部評価を受け、その結果を業務の改善につなげた。また、月に1度第三者委員を招いて、生活相談日を設けている。	今後も定期的に第三者による外部評価を受ける体制を整える。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		100%	0%	地域総合支援センターの職場内研修や外部の研修、法人内の研修に参加し、自己研鑽に努めている。復命研修を行い、資質向上に努めている。	職員が研修で得た知識や支援技術を共有できるよう復命研修を行い、資質向上に努めていく。資格取得についても推奨していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		83%	17%	支援プログラムを作成し公表する予定である。	支援プログラムの公表について、保護者に周知を図っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		100%	0%	児発管がご本人、保護者の意向を尊重した個別支援計画を作成し定期的に評価・見直しをしている。ご利用児の状況や保護者との情報共有の内容を反映させている。	日頃からご利用児の状況や保護者の意向、支援計画に対する経過等を共有し、同じ方向を向いてご利用児支援が継続できるようしていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		100%	0%	計画の作成にあたっては児発管を中心にチームの中で意見を出し合いながら協議する場を設けている。	日頃からご利用児の状況や保護者の意向、支援計画に対する経過等を共有し、その後利用児のさらなる成長に繋がる計画作成に努めたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		100%	0%	計画に沿った支援が確実に行われるように、チーム内で相互に確認しながら支援を行っている。	計画と支援が乖離することのないようにサービスの提供状況や内容を把握し、必要な指導を行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		100%	0%	事業所で決められた標準化された様式を使用している。	より丁寧なアセスメントを行って行きたい。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	発達段階に応じた活動内容及び状況に応じ、5領域に沿った活動を提供している。児童の成長段階、学年、就学等のステージに合わせた計画内容を策定している。	5領域に沿った本人支援や家族支援、移行支援等について、職員間で理解を深めていく必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	児発管を中心に5領域をふまえバランスよく活動内容を作成している。毎日のミーティングの際に活動内容の詳細や手順等の話し合いを行い、職員で意見やアイデアを出し合っている。	目的を共有しながら多くの体験ができるよう、引き続きアイデアを出しながら、活動集等も活用していきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	児発管を中心に5領域をふまえバランスよく活動内容を作成している。職員で意見やアイデアを出し合い、ご利用児の成長に合わせ、工夫をしている。	今後も自己研鑽を重ねながらアイデアを出し合い、創意工夫しながら活動プログラムの提供を行っていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	児発管を中心に作成した個別支援計画に沿って個別、集団活動と組み合わせながら活動を行っている。	個別支援のさらなる充実が図れるような支援計画の作成に努めていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	前日、又は支援前に送迎の手順、活動の流れや支援方法の留意点、ご利用児の状況、役割分担等を話し合い、再度確認するようにしている。	全員が等しく情報共有ができるように時間を設け、もれないよう確認していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	終了後の振り返りが難しい場合は、翌日の朝礼報告の際に共有している。	気づいた点等職員間で共有している。また、休みの職員には出勤時に伝達している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録の記載、書き方について職員間で統一し、児発管を中心に支援の検証・改善につなげている。	職員が同じ視点で記録できるように育成をしていくことが課題である。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	児発管を中心に職員間で情報共有しモニタリング会議を実施している。状況に応じて見直しを行っている。	余裕を持ってより丁寧な見直しができるよう努めていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	基本活動を複数組み合わせ、支援を実施している。また、ガイドラインについても児発管が職員に周知を回り、支援に取り入れるようにしている。	平日は時間が限られているので地域交流の機会を設けられないのが課題である。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	カリキュラムの中で育む支援がされている。	自分の意思を持つ、意思を表出する力、自分で考えて行動する、選択することができる力の育成に向けた支援を行っていく。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児発管を中心に対象ご利用児のことがよく理解できている者がサービス担当者会議に参画している。	出席した会議の伝達を確実に実行していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	障害福祉、保育、教育等は関係機関が連携し、情報を共有する体制ができていないが、保健、医療等はあまり連携がとれていない。	普段から情報を共有する体制が整えられるよう、地域のネットワークづくりが必要である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校の状況や体調不良等の様子の伝達を受け、支援に反映させている。下校時刻や行事については、保護者の了承を得た上で学校発出の各種連絡事項等で確認させていただいている。	送迎時だけではなく、必要に応じて学校に連絡をとり、連携の強化を図っていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	児発管が関係機関が主催する利用前会議に出席し、情報共有及び支援方法について連携を図っている。相談支援事業所と連携を図っている。	できれば利用前に保育所等で過ごす様子を見に行くことができたかと考えている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	児発管が利用前担当者会議等を通して、情報共有を行い、内容を共有している。相談支援事業所と連携を図っている。	移行する障害福祉サービス事業所等と情報共有し、スムーズな移行が図られるよう配慮する。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	83%	17%	児童発達支援センター主催の北部圏域児童発達支援連絡協議会の研修に参加している。また、必要に応じて児発管が関係機関との連絡調整を行っている。	今後、児童発達支援センターとの連携をさらに深め、客観的に事業所をとらえる機会を設け、助言等を受けることで、支援の質の向上につなげてきたい。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	地域総合支援センターで行われるマルシェ等のイベントを利用して、地域のこどもと交流する機会を確保していきたい。また、周辺の公園等の地域資源を利用する中で、地域のこどもと交流する機会を設けていきたい。	地域の子ども達と交流する機会が少ない。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	83%	17%	地域総合支援センター職員が参加しており、復命で情報共有を図っている。	地域総合支援センター職員が委員となり出席し、その復命を受けて情報共有をしている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎や迎えの際に必ず保護者にその日の状況や様子を口頭で伝えている。特記でお知らせすることは当日に必ず保護者に連絡・報告している。連絡帳への記載や個別の相談については、その日の内に返答するようにしており、調整した後日時間を設けて対応させていた	必ず職員間で情報共有、保護者へお伝えしている。そのため、職員間のコミュニケーションを密に図り、情報共有を常に念頭において支援を行っている。ご意見や相談等があれば、必ず保護者へ確認を行い、誠心誠意対応する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	令和6年度は保護者にお知らせし、宇佐市と高田市でペアレントプログラムを実施した。	令和7年度も実施の予定であり、日程等はチラシでお知らせしたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	児発管が契約時に説明し、適宜問い合わせがあったときは対応している。	初めての方でもわかりやすい説明に努めている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	児発管が直接ご利用児や保護者に確認し、支援計画を作成して支援の統一を図っている。	モニタリング会議を活用する場合には、今後ご利用児の出席についても呼びかけていくことが必要と思われる。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	必ずご本人と保護者に説明を行ってから同意を得ている。	丁寧な説明を心がける。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	送迎時や会議等で相談があった場合は丁寧に、また、別途時間を設け助言や支援をさせていただいている。	今後もご家族の想いを大切にしながら話をうかがい、一緒に課題を整理したり、必要な情報を提供したりすることに尽力していき
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	個別の保護者懇談会を実施した。保護者同士の交流が図れる機会を今後検討していきたい。	保護者会を計画し、保護者同士での交流ができるような内容を検討していきたい。きょうだい児支援について今後の課題である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	児発管を中心に職員間で早期に対応し改善を図っている。苦情相談委員の第三者委員による生活相談日を月に1回設けている。	迅速に事実を確認した上で丁寧な説明を行い、解決に向けて対応する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	日々の連絡帳や法人HPへの掲載等で情報発信をしている。連絡体制について、個人ごとに緊急連絡先を整理して冊子にしているため、有事にはその情報をもとに連絡を行う。	法人HPの掲載についても頻度を上げ、情報発信に力を入れていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	法律に基づき細心の注意を払っている。法人で決められた行動規範チェックリストを定期的に実施し、正当な個人情報の取扱いについて確認を行っている。	法令遵守を徹底するよう、引き続き職員育成を行っている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	保護者とは電話やメール、文書だけでなく、直接話をして共通認識を図っている。児童については、特性に応じたコミュニケーション、意思の疎通を図っている。普段の様子を知ることで意思表示の方法等を理解できるよ	コミュニケーションの手段や方法についてはさらなる工夫をし、職員間で共有していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	83%	17%	地域総合支援センターで行われてるマルシェ等を利用して、地域住民との交流の機会を計画したい。	ご利用児の作品の展示やイベントの開催等を通じて交流を図ってきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルは職員に周知・徹底し、計画に沿って発生を想定した訓練を実施している。感染防止のマニュアルを作成し、保護者の協力を得ている。	引き続きマニュアルの周知・徹底を図っていく。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画を策定し、計画に沿って定期的に必要な訓練や研修を行っている。	保護者に業務継続計画について理解が深まるように定期的に周知していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	発作や持病があるご利用児については対応マニュアル(支援の統一事項)を作成し適切な対応ができるよう体制整備をおこなっている。	事業所からも持病や服薬、発作の状況等の把握を積極的に行っていく必要がある。

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	契約時の聞き取りの際に食物アレルギーがあるか確認を行っている。医師の指示書に基づく対応が必要なご利用児はいないが、周知を図っていきたい。	職員全員で必ず把握し、今後も共通認識が持てるようにしていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を策定し、計画に沿って定期的に必要な研修や訓練を行っている。安全点検表を用いて定期的に確認を行っている。	必要に応じて見直しを行いながら、ご利用児が安全安心に過ごせるように管理していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	安全計画については、今年度ご家族への周知を行った。	新規ご利用児については契約時に説明を行っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	地域総合支援センターで毎月1回実施されているリスクマネジメント委員会で周知した内容を共有し、再発防止に努めている。	気づきの視点を多く持ち、事故防止につなげることができるように職員育成を図っていく。過去の事故に対する対策防止策を念頭においた支援を徹底していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置し、少なくとも3ヶ月に1回以上開催し、ケースの周知や今後の対応の協議等を行っている。虐待防止のための職場内研修を実施している。また、虐待防止チェックリストを活用し、チーム支援の振り返りの機会としている。	職員同士のコミュニケーションを密に図ることでチーム支援を行い、不適切な支援につながらないような環境づくりを行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束適正化委員会を設置し、少なくとも3ヶ月に1回以上開催し、身体拘束の状況や今後の対応について協議・検討を行っている。半身体拘束を行う場合は委員会の中で協議したうえで決定しており、保護者の同意も得て、放課後等デイサービス計画にも記載している。	身体拘束について、具体的な解除方法の事例を共有する研修を行うことで理解を深めていきたい。	